

# 2017（平成29）年度決算の概要

## （1）2017年度の財務の概要

2017（平成29）年度は大学部門の設置者変更に伴い、事業活動計算書の資産処分差額（小科目は分離引渡差額）や、退職金などの費用計上がなされているが、その反面、承継資産に係る基本金の取崩もあり、翌年度繰越収支差額は前年度の△4,503,699千円から△1,438,505千円と財務状況は改善されることとなった。

また、所有する有形固定資産や第1号基本金が減少することから本学院の資産の総額は減少することとなった。

（千円未満を切捨てているため、合計は一致しない場合がある。）

## （2）事業活動収支計算書

2017(平成29)年度 事業活動収支計算書 (2017. 4. 1～2018. 3. 31) (単位 千円)			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金	1,442,829	人件費（含退職金）	1,506,355
手数料	12,032	教育研究経費	679,327
寄付金	764,729	管理経費	259,350
経常費等補助金	564,368	徴収不能額等	0
付随事業収入	36,957		
雑収入	171,417		
教育活動収入計	2,992,335	教育活動支出計	2,445,033
教育活動収支差額		547,302	
受取利息・配当金	158	借入金等利息	47,025
その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動外収入計	158	教育活動外支出計	47,025
教育活動外収支差額		△ 46,867	
経常収支差額		500,434	
資産売却差額	0	資産処分差額	4,098,907
その他の特別収入	20	その他の特別支出	△0
特別収入計	20	特別支出計	4,098,907
特別収支差額		△ 4,098,886	
事業活動収入計	2,992,514	事業活動支出計	6,590,966
		基本金組入前当年度収支差額	△ 3,598,452
		基本金組入額合計	0
		当年度収支差額	△ 3,598,452
		前年度繰越収支差額	△ 4,503,669
		基本金取崩額	6,663,615
		翌年度繰越収支差額	△ 1,438,505

【事業活動計算書に関する特記事項】

学生生徒納付金は対前年度学院全体で24,123千円の減額となった。高校部門の生徒数は増加したが、その反面、大学、短大、中学の学生・生徒数が減少したことによる。経常経費等補助金には国庫補助金として中高各教室へのプロジェクター設置に係る私立高等学校等IT教育設備整備事業費補助金1,905千円も含まれている。付随事業収入には、発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究事業委託費の1,932千円が含まれている。

借入金利息等には、私学事業団からの借入金の内、900,000千円の方の償還残高の一括償還に伴う繰上償還保証金36,710千円が含まれている。

資産処分差額には、分離引渡差額として桃山学院との間で締結された「プール学院大学の設置者変更に関する基本契約書」に基づき桃山学院教育大学に承継された土地・建物・構築物・教育研究用機器備品・図書等の帳簿価額4,096,339千円が含まれている。

(3) 資金収支計算書

2017(平成29)年度 資金収支計算書 (2017.4.1~2018.3.31) (単位 千円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,442,829	人件費支出(含退職金)	1,533,103
手数料収入	12,032	教育研究経費支出	412,761
寄付金収入	764,729	管理経費支出	232,507
補助金収入	564,368	借入金等利息支出	47,025
資産売却収入	0	借入金等返済支出	483,240
付随事業・収益事業収入	36,957		
受取利息・配当金収入	158		
雑収入	171,417	施設関係支出	1,648
借入金等収入	0	設備関係支出	22,406
前受金収入	149,355	資産運用支出	326,811
その他の収入	219,620	その他の支出	188,193
資金収入調整勘定	△ 426,166	資金支出調整勘定	△ 223,782
前年度繰越支払資金	280,897	翌年度繰越支払資金	192,284
収入の部合計	3,216,199	支出の部合計	3,216,199

【資金収支計算書に関する特記事項】

当期末未収入金の主な内容は、大阪府私学退職金社団及び私立大学退職金財団からの交付金合計105,396千円であり、当期末未払金の主な内容は2018年3月末退職者(転籍者含む)の退職金209,430千円である。また、私学事業団からの借入金のうち399,920千円を10月31日に繰上償還したことにより、それ以降の借入金元本の返済額は年額83,320千円から33,330千円と減額になった。

## (4) 貸借対照表

2017(平成29)年度 貸借対照表 (2018年3月31日) (単位 千円)			
<b>資産の部</b>			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,941,626	9,109,557	△ 4,167,930
有形固定資産	3,621,940	7,990,181	△ 4,368,241
特定資産	1,318,781	1,118,470	200,311
その他の固定資産	905	905	0
流動資産	635,384	668,888	△ 33,503
資産の部合計	5,577,011	9,778,445	△ 4,201,433
<b>負債の部</b>			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	924,082	1,384,251	△ 460,168
流動負債	508,874	651,687	△ 142,813
負債の部合計	1,432,957	2,035,938	△ 602,981
<b>純資産の部</b>			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	5,582,560	12,246,175	△ 6,663,615
第1号基本金	5,410,834	12,074,450	△ 6,663,615
第4号基本金	171,725	171,725	0
繰越収支差額	△ 1,438,505	△ 4,503,669	3,065,163
翌年度繰越収支差額	△ 1,438,505	△ 4,503,669	3,065,163
純資産の部合計	4,144,054	7,742,506	△ 3,598,452
負債及び純資産の部合計	5,577,011	9,778,445	△ 4,201,433

## 【貸借対照表に関する特記事項】

## ・ 固定資産の部

有形固定資産の変動は設置者変更に伴う大学部門の資産の承継による減少の他、中高教室へのプロジェクター40台の6,804千円の取得などが計上されている。特定資産については、退職給与引当特定資産が退職金の支払いに伴う62,000千円の取り崩しと、232,000千円の繰り入れ、将来計画引当特定資産については80,311千円の繰り入れ、オクスラド基金引当特定資産への10,000千円の繰り入れをそれぞれ行った。

## ・ 流動資産の部

未収金の主なものは、大阪府私立学校退職金社団及び私立大学退職金財団からの当期支給退職金に係る交付金105,397千円、私立高等学校等IT教育設備整備事業補助金、設置者変更に伴う人件費負担金、発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究事業委託費である。

なお、期末現金預金残高は192,284千円であり、第4号基本金を上回っている。

1年以内返済長期借入金は33,330千円である。

純資産の部における第1号基本金の変動の主な原因は大学部門の設置者変更に伴う固定資産の承継に係る基本金の取り崩しであり、第4号基本金については2016(平成28)年度の1ヶ月あたりの経常的な運転資金が第4号基本金の金額と比較して20%以内の変動のため、取り崩しは行わず同額である。

## ・ 資産の総額

以上より、登記すべき資産の総額は純資産の部合計の4,144,054千円である。